

国会議員 奥村のり子の 読者ニュース

2017年3月26日 第258号
 ——奥村のり子生活相談所——
 〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
 ☎&FAX 073-427-7121
 Eメール wjcpken@naxnet.or.jp



生涯を被爆者医療にささげた 肥田舜太郎さんをしのぶ

21日の「しんぶん赤旗」で肥田舜太郎さんがお亡くなりになったことを知りました。全日本民主医療機関連合会(和歌山生協病院なども加盟)の創立に参加された方で生涯被爆者医療や民主的医療の発展に大きな役割をはたされてきました。看護師として働いていたところ、研修会で講演をお聞きしたこともあり、医療人としての真摯な姿勢が今でも印象に残っています。

22日のしんぶん赤旗の「潮流」欄を見て、また励まされました。「被爆者は人類の宝」と言われていました。「潮流」の一節を紹介します。

「原爆の被害を隠し、研究と治療法開発の道を閉ざした米國。その理不尽な圧力に屈して被爆者を放置した日本。肥田さんは被爆の実相を伝える使命があると、世界を駆け巡り、核兵器の廃絶を訴え続けました。」

命を守るためにた

宮本議員 迫力の国会報告 正義の党に内部告発も！

20日、宮本岳志衆議院議員による「森友学園疑惑」を中心とした国会報告会は、会場いっぱい聴衆が参加され、ご苦勞様でした。文字通り国会で一番初めに取り上げた国会議員だから迫力満点でした。最初の質問は2月15日でしたが今やマスコミでもほぼ毎日の報道です。首相夫妻の道義的責任は明確で政権をゆさぶり、内閣支持率も減り続けているようです。

宮本議員によるときつかけは豊中市の無所属議員が早くから不信に思い取り組んでいたのを共産党議員も一緒に党国会議員団にもちこまれたもの。党の市町村議員や都道府県議員と国会議員の連携の大切さを実感。正義の党を信頼し内部告発が寄せられることも宮本議員は紹介しました。先々週の当欄で紹介した小池晃書記局長の質問も森友学園が政治家の事務所に通じかけていた内部告発でした。「女性自身」という雑誌3月28日号で小説家・タレントの室井佑月さんが、「わーお、小池さん、刑事コロナボみたいだわい。あたしゃ、籠池理事長に口利きを頼まれた議員はだれか、気になって気になって、それからの用事が何もできなかったぐらいじゃ。やるなあ」と…。ついでに同誌には「昭恵夫人『次は海外ビジネス』安倍首相 私邸の孤独と憂悶」と題した記事もあり、夫人の驚愕の自由奔放ぶりが報道されています。(編集室)

のり子の週刊日誌(主なもの)

- 3月24日 市駅吉宗像前宣伝、庁内訪問、年金裁判河北ブロック会議
- 25日 西脇地区訪問
- 26日 孫市まつりボランティア
- 27日 ヒバクシヤ署名行動、河西生活相談
- 28日 会議
- 29日 会議
- 30日 市駅前事務所生活相談日



2月市議会報告です

メガソーラー計画は六十谷駅近くの千手川を挟んで西側に県の環境影響調査の対象からわずかに欠ける743ha(六十谷・直川・園部地域)。東側には132ha(直川・府中地域)で合わせて甲子園球場の53倍という巨大なものです。下方に住宅地が広がり土砂災害特別警戒区域等に指定されている地域があり、山林伐採により影響が懸念されます。

長野県上田市では要綱をつくり事業主の責務として「防災の観点から十分に配慮し、開発行為に起因して災害発生を助長することが予想される区域については、開発区域として選定しないよう配慮しなければならぬ」(2016年1月1日施行)としている事を紹介し、和歌山市としても規制などを検討するプロジェクトームをつくることを提案しました。荒竹副市

たかい生きる大切さを説き、自らも1世紀に及ぶ生涯でした。被爆医師の肥田さんの志をさらに広げていきたいと思えます。(奥村のり子)

森友学園に国有地をタダ同然で売却した問題や、稲田防衛相がしぶとく辞任しないことなどもあって、安倍内閣の支持率が下落しています。

読売新聞が66%から56%へ、日本テレビが54.9%から47.6%。「赤旗」22日付です。ネットで検索すると、「内閣支持率39%に下落」(朝日)、共同通信は47.4%から37.7%へ「急落」などと、下落ニュースが圧倒的です。



コスモパーク加太のメガソーラー

長は「県が適切に対応しているのが現時点では市独自の規制を検討する必要はない」「市として、市民の命と安全を守る事を最優先に考えることは当然であり、現在も局横断的に情報を共有し、協議するなど連携して対応している」と答弁。

「私はこの計画はやめるべきだと思うが、市長はどう思うのか」の質問に市長は「発電所設置のための林地開発により災害等が引き起こされる様な事があるてはならない」「今後、市民の命最優先に、林地開発許可申請に対する関係市町村長の意見として、これらの点を中心に申し入れていく」と答弁しました。

現在、直川・府中地域の計画について、これまで環境影響評価審査会が2回開かれています。次回は3月30日(水)14時半から書道資料館にて。誰でも傍聴できます。

党市議会議員 南畑さち代



Relay talk Relay talk リレートーク

Relay Talk